

2025年度後期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	健康栄養学科	履修者数	1,421
------	--------	------	-------

回答者数	928
------	-----

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	313	299	273	43	0
	33.7	32.2	29.4	4.6	0.0

No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5 とても そう思う	4 やや そう思う	3 どちらとも いえない	2 あまりそう 思わない	1 全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目

1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.40	465 50.3	385 41.7	54 5.8	17 1.8	3 0.3	924	4
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.44	496 53.5	357 38.5	60 6.5	11 1.2	3 0.3	927	1
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.03	305 32.9	416 44.8	149 16.1	48 5.2	10 1.1	928	0

▼学部レベルの質問項目

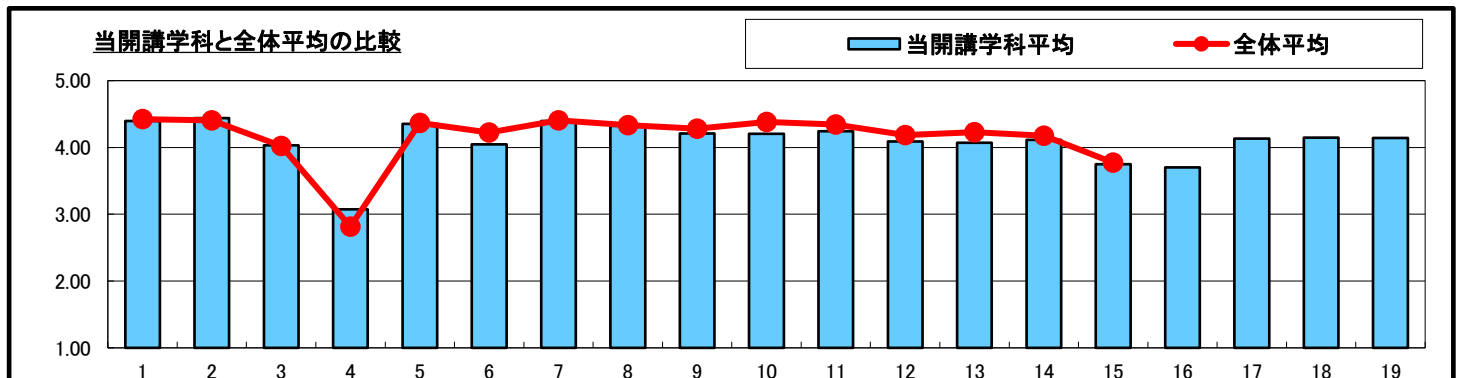
No.	設問文	平均	2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くして いない	有効 回答	無効 回答
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.07	116 12.5	208 22.4	335 36.1	166 17.9	103 11.1	928	0
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.35	435 47.1	390 42.2	90 9.7	8 0.9	1 0.1	924	4
6	この科目の難易度は適切であった	4.05	311 33.5	407 43.9	159 17.2	41 4.4	9 1.0	927	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.39	475 51.3	365 39.4	64 6.9	20 2.2	2 0.2	926	2
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.32	435 47.0	387 41.8	75 8.1	27 2.9	2 0.2	926	2
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.21	423 45.7	336 36.3	115 12.4	37 4.0	14 1.5	925	3

▼教員個人レベルの質問項目

10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.21	412 44.6	358 38.7	98 10.6	44 4.8	12 1.3	924	4
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.24	408 44.1	385 41.6	91 9.8	35 3.8	7 0.8	926	2
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.09	380 41.0	345 37.2	130 14.0	47 5.1	25 2.7	927	1
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.07	348 37.6	384 41.5	119 12.9	59 6.4	15 1.6	925	3
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.11	378 41.0	347 37.6	142 15.4	38 4.1	18 2.0	923	5
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.75	236 25.5	372 40.3	198 21.4	85 9.2	33 3.6	924	4

▼学科設問

16	この授業の到達目標に対して、自分の到達度はどれくらいですか	3.70	127 13.7	450 48.5	303 32.7	41 4.4	6 0.6	927	1
17	（健康栄養学科専門科目）本科目を受講して、国家試験に向けた勉強への意欲が向上しましたか	4.13	329 35.6	438 47.4	118 12.8	33 3.6	7 0.8	925	3
18	（健康栄養学科専門科目）本科目を受講して、国家試験問題への理解が深まりましたか	4.15	319 34.5	461 49.8	116 12.5	21 2.3	8 0.9	925	3
19	（健康栄養学科専門科目）本科目を受講して、栄養や食に関する社会的課題との関連性を考えることができましたか	4.14	328 35.4	451 48.7	112 12.1	25 2.7	11 1.2	927	1



2025 年度後期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	健康栄養学科
講評者	健康栄養学科長 池谷 昌枝

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	1：学修環境については、約 50%が'とてもそう思う'と回答、次いで約 40%が'ややそう思う'となっており、2 項目の合計で約 90%が良好であると感じていることがわかります。2：クラスサイズについても 1 と同様で、それぞれの授業の性質に合わせたクラス設定が出来ていると思います。3：熱意については、ややバラつきがあり、授業の特性や科目内容、実施スタイル等の多様性に付随したばらつきであり、そこに学生個々の参加度合いが関与しているため、今後は、学生の声を取り入れながら、より熱意を感じられる授業形式となるよう検討してまいります。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	4：授業外学修時間はその他項目に比べて得点（時間数）が少なく、これは例年共通した問題点であると思われます。授業内でも課題やレポート等が課されているため、その遂行はもちろん、予習と復習の重要性を認識していただき、今後は適切な時間数が確保できるよう啓蒙してまいります。それ以外の項目は概ね平均 4 を超えており、授業構成は適切であると思われます。授業の内容が講義形式、実習、実験、演習など多様であるため、それぞれの形式ごとに授業担当者でも検討し、より質の高い教育が提供できるよう学科として検討してまいりたいと思います。総合的に見れば、栄養士、管理栄養士養成課程として、学生たちが有意義に受講できていると思われます。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	これらの項目はどれも 4 点または 5 点での回答が多く、学科教員がそれぞれ工夫を凝らして熱意を持った授業が実施できていることがうかがえます。シラバスについての啓蒙はまだ不足していることがあると思われますので、今後は授業開始時や授業中にも達成目標などを掲げながら、より DP に向かいやすくなるような教育ができるよう学科としてすすめてまいりたいと思います。

<p>設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）</p>	<p>本学科は栄養士、管理栄養士の資格に関わる科目が多いため、その注力した授業が根幹となります。これに対し、授業の受講により国家試験への意欲が高まり、社会的課題との関連性も見出すことができていると思われます。全体として概ね良好ではありますが、今後は、さらに具体化した実施策を教員同士が共有し、より高いポイントとなるよう努力してまいりたいと思います。</p>
--------------------------------------	--